仕　様　書

1．件名　　CO2インキュベータ

2．数量　　2台

3．使用目的

重粒子線がん治療装置において生物実験の内、研究に使用する細胞を培養しなければならない場合細胞の増殖を効率よく行うことのできる環境が必要となる。このCO2インキュベータを使用することにより、上記目的を満足し、かつ細胞の汚染防止、外界との隔離、遮光もあわせて達成する。

現在、ＨＩＭＡＣ棟2階　細胞実験室2のCO2インキュベータについては、使用開始後10数年が経過し修理対応の期限も過ぎており、また温度制御が不安定となっていて上記目的を担保することが難しい状態となっているものがある。当該機器は共同利用実験の実験者が利用する設備の一つであり、利用の要望が多数になった際に、インキュベータが足りなくなり実験に影響を及ぼす可能性がある。そこで今回、新しいインキュベータを購入することにより、実験の要望にこたえるとともに、新たに乾熱滅菌機能が付加されているため、定期的な作業で発生していた解体、滅菌作業が軽減するため維持管理の負担も軽減する利点があり、かつ共同利用実験で使用する細胞容器の大きさを考慮し、使用部分の加工を行うことで、実験者の利用しやすい環境を提供することができる。

4．納品期限　　平成24年　8月　31日

5．機器及び調整の仕様

品名：アステック社製　ダイレクトヒータ型CO2インキュベータ　SCA-165DRS（相当品可）

仕様：1. インキュベータ本体　2台

型名　SCA-165DRS

2. インキュベータ用ブランケット　2式

型名　165002

3. インキュベータ用棚板　2式

型名　165001

4. 棚受板金加工　2式

・1列19穴を　1列18穴に

・穴2点間の長さを25mmから30mmへ変更

5. レール板金加工　2式

・上部Ｌ字エッジを10mmカット

6. 架台及び連結金具を用いて上積み固定する

6．提出図書　　取扱説明書・・・・1部

7．納入場所：重粒子線棟　2階　細胞実験室1

8．その他

1）納入後1年間は、フォローを行ない、性能を維持確保すること。

2）本仕様で確定出来ない問題が発生し或は予見される場合は、速やかに本所係員へ連絡協議し、その指示に従うこと。

3）納入場所での設置、動作確認後引渡しのこと。

部課（室）名　重粒子医科学センター国際重粒子医科学研究プログラム

使用者氏名　村上　健